

[TOP page](#)
[資料室](#)
[イベント情報](#)
[講師を探す](#)
[Worker's 広場](#)
[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [傾聴](#) | [傾聴トレーニング \(8\)](#)
[労働組合](#)
[労働者福祉・共済](#)
[一般教養](#)
[社会保障](#)
[労使トラブル法律相談Q&A](#)
[労働関係法](#)
[経営全般](#)
[人間関係とコミュニケーション](#)
[ライフプラン](#)
[男女共同参画](#)
[公務員関係法](#)
[日朝の歴史](#)
[7つの習慣](#)
[中東の歴史](#)
[ボランティア活動](#)
[環境活動](#)
[社会貢献活動](#)
[自己啓発](#)
[生涯学習](#)
[外交・防衛問題](#)
[資本論](#)
[教育カリキュラム](#)
[日本国憲法](#)

傾聴トレーニング (8)

第2ステップ

「共感的な伝え返し」の練習

(1) 二人一組の実習

「伝え返し」の練習は、最初は短く区切って行ったほうがいい。

- 1、話し手が30秒～40秒程度、区切りのいいところまで話す。話の内容は、「いま、ちょっと困っていること」など。出来事の説明だけでなく、自分の気持ちについて語るようにする。
- 2、聴き手は、「あなたのおっしゃっていることは、～ということでしょうか」という姿勢で、できるだけ短く「伝え返し」を行う。
- 3、話し手は、聴き手の言った言葉を、自分の内側で響かせて、「どのあたりがぴったりで、どのあたりがずれているか。どのあたりが短すぎて、どのあたりが長すぎるか」を伝えていく。
- 4、1～3までをくり返して、話し手が「えええ、そうなんです！」という感じを得られるまでくり返していく。
- 5、そうなれたら、少しふり返しをする(2分程度)。
- 6、役割を交代する。

この方法では、まさにクライアント役が、カウンセラー役に対して「教師役」を同時に兼ねる。なぜなら、カウンセラー役の応答のどれがぴったりときて、どれがどうずれているか、どこが足りなくてどこが余計なのかをわかるのは、ただ、クライアント役(話し手)の方の「内側の実感においてだけ」だからだ。このトレーニングの中心は、文字通りの「クライアント中心」の、傾聴トレーニング法である。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

>>> [一覧へ戻る](#)

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

🔍 サイトマップ 🔍 このサイトについて 🔍 個人情報保護の取組みについて

🔍 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.